

futbol y vida



Poco a poco ...
boco y boco ...

48期生 リーグ優勝&昇格がミッション!!
“有終の美”は全勝で飾る!!

Team 2021 48期生の高校サッカーラストチャレンジ!!

地区ユースリーグ“優勝&昇格”は、三年間の集大成!!

先日、約半年ぶりに緊急事態宣言が全面解除され、10月からは学校生活も日常に戻りました。部活動の方も今まで同様に新型コロナウイルス感染予防に努めながら、活動を続けていきたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、現在、サッカー部は、先日配布いたしました10月の予定表通り（若干変更あります）**Team 2021**は残りリーグ戦**四試合**となりました。早速、今週末は**昭和第一学園B**と大事な試合が待っています。リーグ戦には変わりませんが、ここからは「**負けたら終わり!!**」のトーナメント戦のつもりで、一戦一戦全力で闘っていききたいと思っておりますので応援宜しくお願い致します。

Team 2021 スタートから一年が経過。その成果をリーグ戦で出す!!

10月1日は、台風16号の影響でサッカー部の活動はありませんでしたが、丁度一年前に48期生が合流して現体制になり**Team 2021**がスタートをした日でした。当時は、49期生がトレーニングを仕切り、48期生が新たな練習メニューを真摯に教わっていた姿が、今では懐かしい思い出です。ここから、片倉高校サッカー部のトレーニング環境や雰囲気は大きく変化し（難しいことではなく、高校サッカー界のスタンダードを持ち込んだだけです）、まさに「**K's パラダイムシフト**」が起こりました。新チーム結成当初は**TRM**で連敗街道まっしぐらの中、初の公式戦である新人戦を迎えました。二回戦で強豪校の松が谷高校に敗れはしましたが手応えを十分に感じ、冬の鍛錬期のトレーニングに臨む予定でしたが新型コロナの影響で三か月間活動ができずに今までで一番苦しい状況が続きました。また、選手が数名辞めていったのもこの時期でした。50期生が入学するまでの間は人数も少なくなりましたが、厳しい環境を乗り越えたからこそチームの絆が深まりました。随分逞しい顔つきになったと思います（左：昨年大晦日、右：今年の選手権）。



<Footballを通して、子どもたちは逞しく成長する!!

人の評価こそ真の評価!!

今年度の選手権予選は調布南高校のゴールを最後まで奪えずに**0-1**で敗退しました。同地区の格上相手にかなり迫ることができましたが、チームとしてあと少し届かないそして足りないものは何かを今後も諦めずに追求していきたいと思えます。

さて、ご存知のように片倉高校グラウンドは長年に亘り公式戦の会場校に使用されています。これは、歴代の先生方が築き上げたものでありそして高体連からの信頼を獲得できた証しです。会場校は自分たちの試合だけではなく、大会の会場準備や運営、片付けまであるので大変なことも多いのですが、大変だからこそそれ以上に得ることもたくさんあります。他校の生徒から学ぶ部分もありますが、特に来校されたサッカー部の先生方とのやり取りは子どもたちの成長を促します。今大会では、「久ぶりに片倉高校に来たけれどサッカー部員の顔つきは良くなったね」「仕事も一生懸命するけれど、挨拶や対応がしっかりとできる」などの評価を頂きました。また、TRMで何度も胸を貸していただく昭和第一学園の先生からは「いつもラインが真っ直ぐに引けていて素晴らしい」と来るたびにお褒めの言葉を頂きます。正直、人（他チーム）からの評価は大変嬉しいものです。



<立ち姿勢で選手の全てが見えてくる>

「勝負は一瞬、人生は一生!!」

チームで立てた目標（結果）にはなかなか到達できませんが、子どもたちはサッカーを通して多くのことを学びそして成長しています。サッカーには必ず勝ち負けがあり、お互い競い合い力を尽くしてもどちらかに転びます。「勝つという結果は、強いからでも優れているからでもなく、一時の運である。負けるという結果は、劣っているのではなく、まだやれる、足りないということである。」とあるコラムで読んだことがあります。人としての素晴らしさは、目の前の瞬間の結果とは別のところにありそれは、日々の練習と生活の積み重ねなのです。例えば、格好つけずに心から大きな声で挨拶をする、誰が汚したかは関係なく掃除や不揃いの履物を揃える、目の前に落ちているゴミを拾える、思い通りにならないことを我慢する、競争から逃げない、感謝の気持ちを言葉と生活で表現することを高校時代に身に付けることがとても大切です。大人になってからではもう手遅れです!!



子どもたちのこの先の人生の勝ち負けの結果が出るのは遙か先、何十年も先のこと。でも人生に於いて結果を出すことの方が少ないと思いませんか？失敗や挫折の中で得たことの方が多いたと思います。子どもたちには、サッカーを通して人生に於いて大切なことを学んで欲しいと願っています。

<多くを学び、背中で語れる男になれ!!>

<After the Game>

星樹祭では、サッカー部員たちが各所で**大活躍!!** どちらかと言えば裏方の役割が多かったのですが、部活との両立を図りながら遅くまでよく頑張っていました。こういう姿勢が、クラスの中で信頼感を生み出します。でも、世の中にはもっと歯を食いしばって頑張っている男はたくさんいます。子どもたちには、常に前を見て、上を向いて生きる力を付けて欲しいと思えます。